

CASBEE® 広島

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	損保ジャパン日本興亜 広島紙屋町	階数	地上13F
建設地	広島県広島市中区紙屋町一丁目2番	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	890 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,080 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、飲食店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年 予定	評価の実施日	2019年9月4日
敷地面積	1,239 m ²	作成者	山本祥太
建築面積	989 m ²	確認日	2019年9月20日
延床面積	11,359 m ²	確認者	本田輝明



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.0

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.2	スコア = 1.5	スコア = 4.0
<p>設計の計画に特段に配慮した事項</p> <p>開口部面積を適切な大きさとし、建物熱負荷を極力抑える計画とした。/ 中央共用階段上部にトップライトを設置し、就業時間中に自然光を効率的に利用できる計画とした。/// 既存建物の地下躯体を再利用し、新築建物におけるLCCO₂の排出量を抑制した。使用する内装材も有害物質の発生しない材料を選定し、建物利用者にとって心地よい空間となるように計画した。/ ライフサイクルCO₂を他ビルに比べて極力抑えられるように建物計画を行った。</p>	<p>設計の計画に特段に配慮した事項</p> <p>/</p>	<p>設計の計画に特段に配慮した事項</p> <p>メンテナンスの行いやすい建物計画とした。利用する内装材、外装材は共に耐久性の高いものとし、維持管理の行いやすい計画とした。/ 設備機器更新が行いやすいように一定の間隔で点検口などを設けた。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される